

長崎県東彼杵町における「Qでん にぎわい創業プロジェクト」の事業概要

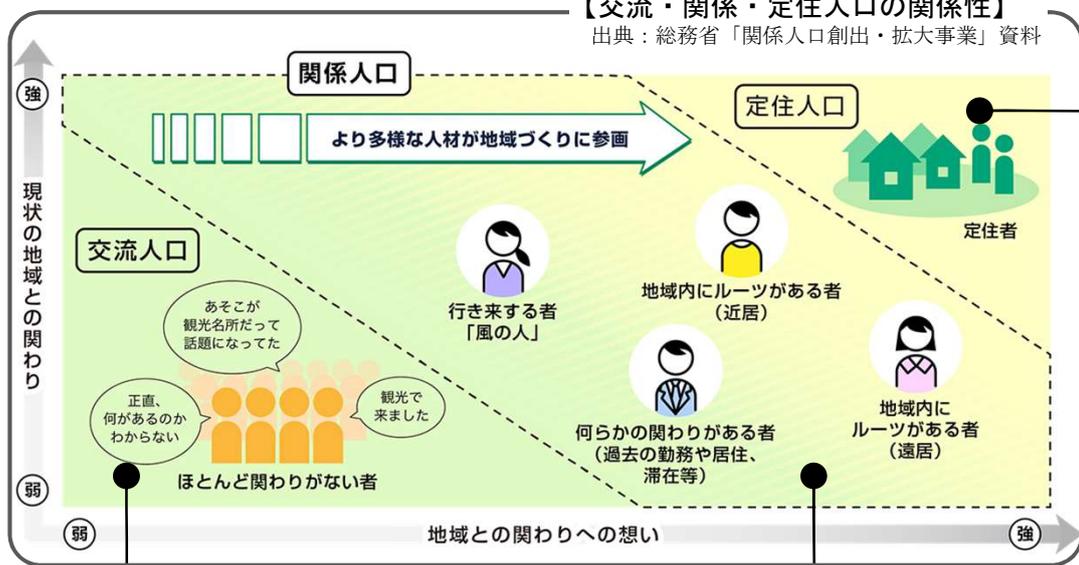
- 今回のプレスリリースは、このうち、「交流人口の拡大に向けた物産品販売事業」の開始についてお知らせするものです。

プロジェクト の目指す姿

持続的なまちづくりに不可欠な「地域の担い手」不足を解消するため、東彼杵町との関係構築の入口となる来街者（交流人口）を増やしつつ、段階的に関わりを深め（関係人口）、定住人口の創出に繋げる。

【交流・関係・定住人口の関係性】

出典：総務省「関係人口創出・拡大事業」資料



【定住人口】 に関する課題

- ・移住希望者への組織的対応が必要
- ・働く場所・住む場所が必要

【交流人口】に関する課題

- ・域外へのPRが必要
- ・観光資源が必要

【関係人口】に関する課題

- ・域外の人が地域との関係を深める機会が必要

【今回開始】

交流人口の拡大に向けた物産品販売事業

- ・東彼杵町の基幹産業であるお茶と一緒に訴求できる「お茶菓子（くじら最中・くじら焼）」を開発し、店舗や移動販売車等で販売

東彼杵を知ってもらい、訪れてもらう
交流人口を増やす

基幹産業であるお茶の活性化を図る



くじら最中



移動販売車「CHANOKO号」

関係人口・定住人口の創出に向けた 交流拠点整備事業（本年秋頃開始予定）

- ・潜在移住者や観光客と地元の人が集う交流拠点を整備
 - －地元キーマンやイベント等の地元情報を発信
 - －カフェやコワーキングスペースを設置

東彼杵の生の情報に触れ、地域と関わる
関係人口を増やす

移住や創業につながる機会を提供する